

# 2022年 ミニ町勢要覧



## エドヒガン 諏訪神社 (高橋)

大口町内には、100年以上前から咲いている桜があります。「八佐の津島社」、「高橋の諏訪神社」及び「新田」にある桜です。この3本をDNA鑑定したところ「エドヒガン」の分類でした。さらに、調査機関の主要品種データベースに同じDNAの登録がなく、「八佐」と「高橋」の桜は遺伝的に近縁であること等も判明しました。「エドヒガン」は、「ソメイヨシノ」に比べて寿命が長いことが特長です。大口町では、これら「大口町古来種の桜」の中でも、比較的生命力の強い諏訪神社の桜から採取した細胞を培養し、クローンを作り苗木を育てています。この桜を「おおぐち観鋭桜」と命名し、町内に植樹をおこなっています。